

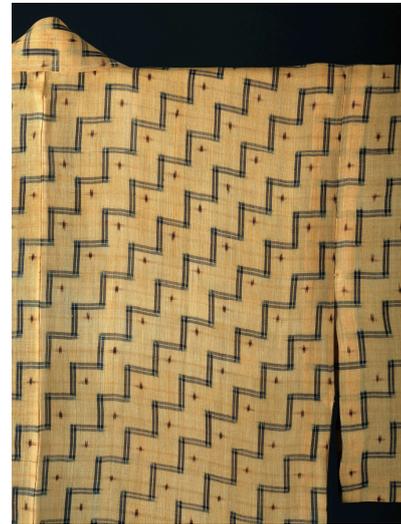
移転開館5周年記念 重要無形文化財指定50周年記念  
**喜如嘉の芭蕉布展**  
7月から金沢・国立工芸館で開催

国立工芸館（金沢市出羽町）は、展覧会「移転開館5周年記念 重要無形文化財指定50周年記念 喜如嘉の芭蕉布展」を2025年7月11日（金）～8月24日（日）に開催します。

「沖縄の風土が生んだ最も沖縄らしい織物」といわれる芭蕉布ですが、現在、沖縄本島の大宜味村喜如嘉でその製法が伝承されるのみになっています。本展は、重要無形文化財の指定から50周年を記念して、芭蕉布の技術復興に尽力した人間国宝、故・平良敏子氏とその工房の作品を中心に、芭蕉布の歴史的な名品もあわせ展示し、その魅力を紹介します。



No.1 平良敏子  
《芭蕉布着物 クワイヤークワサー番匠》  
1970年 国立工芸館蔵 撮影:斎城卓



No.2 平良敏子  
《芭蕉布着物 クワイヤークワサー番匠》(部分)  
1970年 国立工芸館蔵 撮影:斎城卓

## 開催概要

展覧会名	移転開館5周年記念 重要無形文化財指定50周年記念 喜如嘉の芭蕉布展
英題	Basho-fu Cloth in Kijoka —In commemoration of the 50th anniversary of its designation as an Important Intangible Cultural Property and the fifth anniversary of the museum's relocation
会場	国立工芸館
会期	2025年7月11日（金）～8月24日（日） * 会期中展示替えあり
休館日	月曜日（ただし 7月21日、8月11日は開館）、7月22日（火）、8月12日（火）
開館時間	午前9時30分～午後5時30分 （7月18日（金）～8月16日（土）の金・土曜日は午前9時30分～午後8時） ※入館は閉館の30分前まで
主催	国立工芸館
協力	喜如嘉の芭蕉布保存会、喜如嘉芭蕉布事業協同組合、芭蕉布織物工房
観覧料	一般 900円（800円） 大学生 600円（500円） 高校生 400円（300円） * いずれも消費税込み。（ ）内は20名以上の団体・割引料金 * 着物でご来館の方は団体・割引料金でご鑑賞いただけます。 * 夜間開館日の午後5時30分以降は団体・割引料金でご鑑賞いただけます。 * 中学生以下、障害者手帳をお持ちの方とその付添者（1名）は無料。 * オンラインによる事前予約もあり
お問い合わせ	050-5541-8600（ハローダイヤル）
展覧会公式サイト	<a href="https://www.momat.go.jp/craft-museum/exhibitions/562">https://www.momat.go.jp/craft-museum/exhibitions/562</a>

## 金曜と土曜は夜間開館

7月18日(金)～8月16日(土)までの毎週金・土曜日は、夜8時まで開館します。夕方5時30分からはお得な夜の割引料金で展覧会をご覧ください。お仕事帰りやお休みの日にゆったり過ごせるナイトミュージアムをお楽しみください。



撮影：太田拓実

## 記者発表会・内見会

一般公開に先駆けて報道関係の皆さまのみの発表会および内見会を下記日程で行います。参加ご希望の方は、申込書に必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでご連絡ください。

7月10日(木) 午前11時30分～午後1時  
(記者発表 午前11時50分～午後0時30分)

## 広報用画像

広報用画像をご提供いたします。  
ご希望の方は当館ホームページの画像提供システムよりお申し込みください。  
<https://www.momat.go.jp/craft-museum/reproduction>



## 次回展予告

移転開館5周年記念  
**ルーシー・リー展 -東西をつなぐ優美のうつわ-**  
9月9日(火)～11月24日(月・休)

イギリスで活躍した20世紀を代表する陶芸家ルーシー・リー(1902-1995)。その作品は優美な形、色彩で今も多くの人々を魅了し続けています。本展では、当館に寄託されている井内コレクションを中心に彼女が出会った人、もの、場所、時代背景を交えながら魅力の源泉を紐解きます。洋の東西を越えた造形世界をぜひご堪能ください。

ルーシー・リー《ブロンズ釉花器》  
1980年頃  
井内コレクション(国立工芸館寄託)



## 国立工芸館 概要

〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-2 [www.momat.go.jp/craft-museum](http://www.momat.go.jp/craft-museum)

アクセス バス JR金沢駅兼六園口(東口)より北鉄バス

3番乗り場:どの系統でも乗車可、「広坂・21世紀美術館(石浦神社前)」下車徒歩7分

6番乗り場:乗車(「柳橋」行を除く)、「出羽町」下車徒歩5分

8番乗り場:どの系統でも乗車可、「広坂・21世紀美術館(しいのき迎賓館前)」下車徒歩9分

車 北陸自動車道・金沢西ICまたは金沢森本ICから20～30分。

\* 近隣に文化施設共用駐車場(無料)があります。



## 報道関連のお問い合わせ先

国立工芸館 広報事務局(株式会社OHANA内)

TEL:03-6869-7881 FAX:03-6869-7801 E-mail:ncm@ohanapr.co.jp